

取扱説明書 ネットワーク カメラ

本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みのうえ、
後から参照できるように保管してください。

モデル

LNV7260R
LNV5460R
LNU7260R
LNU5460R



目次

はじめに	3
機能チャート	3
操作と設定	4
システムを使用する前に	4
推奨PCの要件	4
LG IPデバイスにアクセスする	5
LGスマートWebビューアの概要	6
Live View	6
システムの設定	8
再生	9
録画ファイルの検索	9
録画ファイルのダウンロード	9
再生	9
スナップショットの記録	9
ビデオクリップ	9
4画面再生	10
フルスクリーン	10
スイッチモード	10
ログ検索	11
LGネットワークカメラデバイスのコンフィギュレーション	12
コンフィギュレーションメニューへのアクセス	12
コンフィギュレーション	12
コンフィギュレーションメニューの概要	12
オーディオビデオセット	13
カメラのセット	15
VCA	17
OSD	21
保管管理	21
ネットワーク管理	23
ユーザー管理	25
警報管理	26
マスク・アラーム	27
PTZ管理	27
アドバンス設定	28
参照	30
故障かなと思ったら	30
オープンソースソフトウェア通知情報	32
仕様	33

はじめに

LGネットワークカメラは、イーサネットネットワーク上で使用するように設計されており、アクセス可能にするためにIPアドレスを割り当てる必要があります。このマニュアルでは、お使いのネットワーク環境の中でLGネットワークカメラを設置および管理する方法について説明しています。ネットワーク環境の知識の一部は、読者にとって有益なものとなるでしょう。

事前予告のない品質改善によって、本機器のデザインや仕様が取扱説明書と異なる場合がありますので、ご注意ください。技術支援が必要な場合は、資格のあるサービスセンターまでご連絡ください。

機能チャート

この表は、モデルの違いを示すものです。

項目	RS-485	ズーム	フォーカス	外部のデイ / ナイト
LNV7260R	はい	はい	オートフォーカス	はい
LNV5460R	はい	はい	オートフォーカス	はい
LNU7260R	はい	はい	オートフォーカス	はい
LNU5460R	はい	はい	オートフォーカス	はい

操作と設定

システムを使用する前に

- LG IPデバイスは、ネットワークセキュリティのために閉鎖型ネットワークで使用されることをお勧めします。
- LG IPデバイスを使用する前に、接続が正しいことを確認し、適切な電源が使用されているかどうかを確認してください。
- 正しい条件下でLG IPデバイスが接続されていることを確認してください。
- LG IPデバイスがネットワークに接続されており、電源が供給されていることを確認してください。
- 一度接続が行われたら、デバイスにアクセスしたいPCにLGクライアントプログラムをインストールする必要があります。
LG IPデバイスに接続する時、LGスマートWebビュープログラムが自動的にインストールされます。
LVi510およびLGスマートWebビュープログラムは、LGビデオサーバーおよびLG IPカメラのネットワークプログラムです。
- Internet Explorerでストリーミングビデオを表示するために、ActiveXコントロールを許可するようにブラウザを設定します。“Click here to download the plug in, close all explorers during the installaion.”というメッセージが表示されたら、青いバーをクリックし、お使いのコンピューターにLGスマートWebビュープログラムをインストールします。お使いのブラウザのズームレベルを100%に設定してください。
- レイアウトとライブビューページは、OS（オペレーティングシステム）とWebブラウザが異なる場合があります。
- メモリが不足する可能性があるため、クライアントプログラムを実行している時は、他のアプリケーションを実行しないよう、注意が必要です。
- 携帯電話機のアプリで60 f p sに設定すると、携帯電話機の性能によってフレームレートが低くなる場合があります。

推奨PCの要件

LG IPデバイスは、ほとんどの標準オペレーティングシステムおよびブラウザで使用することができます。

項目	要件
オペレーティングシステム	Windows XP Professional、Windows 7またはそれ以上
CPU	Intel i7またはそれ以上
Webブラウザ	IE9またはそれ以上
DirectX	10.Xまたはそれ以上
メモリ	4 GBまたはそれ以上
グラフィックカード	512MBまたはそれ以上
ハードディスク	250GBまたはそれ以上
解像度	1920 x 1280またはそれ以上

注意：

Windows 7では、「DirectXエンドユーザーランタイムWebインストーラー」をダウンロードおよびインストールしてください。
“<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=35>”

LG IPデバイスにアクセスする

以下のステップに従って、LG IPデバイスにアクセスすることができます。

1. LVi510プログラムのインストール

必ずLVi510を使用することをお勧めします。
それ以外の場合は、IPユーティリティ[Package>Tools>LG IP Utility Installer] をインストールして、LG IPデバイスのIPアドレスを検索する必要があります。

2. IPユーティリティを使用してLG IPデバイスを検索する

IPユーティリティがネットワーク上のLG IPデバイスを自動的に検出し、表示することができます。

IPユーティリティは、MACアドレス、IPアドレス、モデル名などを表示します。

注意：

IPユーティリティを実行しているコンピューターは、LG IPデバイスと同じネットワークセグメント（物理的なサブネット）上にある必要があります。

- 2.1 IPユーティリティプログラムを実行します。
- 2.2 [Search]ボタンをクリックするか、デバイス検索メニューの[Search]オプションを選択します。
数秒後に検索されたLG IPデバイスがIPユーティリティウィンドウに表示されます。

3. LGスマートWebビューアへのログイン

- 3.1 IPユーティリティを実行し、LG IPデバイスを検索します。
- 3.2 LG IPデバイスがIPユーティリティウィンドウに表示されたら、IPアドレスをダブルクリックするか、同じIPアドレスを右クリックし、「Webページに接続」を選択してLGスマートWebブラウザを起動します。LGスマートWebビューアにアクセスする時は、ログインのためのウィンドウが表示されます。ウィンドウの右上にあるドロップダウンリストから言語を選択します。



- 3.3 ユーザー名とパスワードを入力します。（デフォルトの管理者ユーザー名とパスワードは「管理者」であることに注意してください。）

注意：

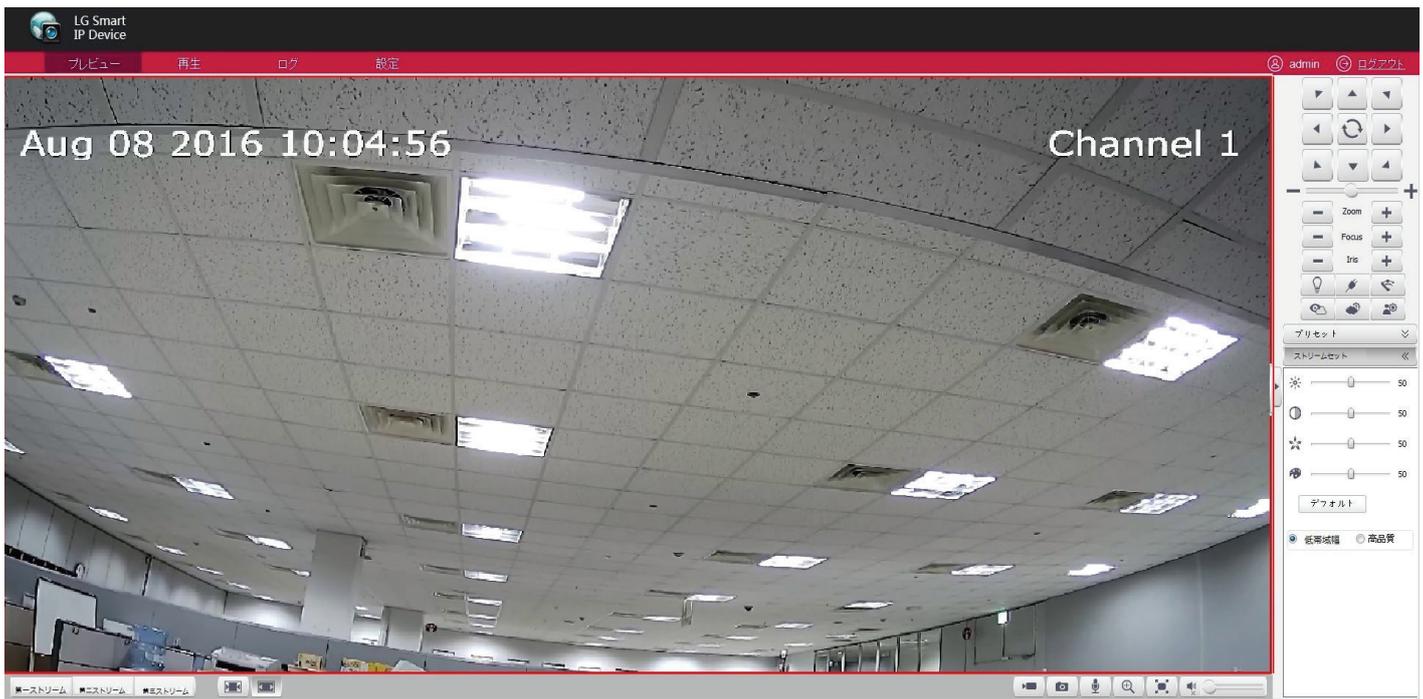
デフォルトのパスワードは、セキュリティのために初期接続の後に必ず変更する必要があります。

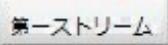
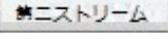
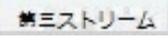
注意：

- 以下のように、LGスマートWebビューアにアクセスすることができます。
 - 3.1 お使いのWebブラウザを起動します。
 - 3.2 ブラウザのアドレスバーにLG IPデバイスのIPアドレスを入力します。
 - 3.3 管理者が設定したユーザー名とパスワードを入力します。
- ブラウザークッキー設定を確認して、[Remember my credentials]を使用します。
- LGスマートWebビューアのアップデートが必要である場合、ネットワーク状態によって所要時間が異なります。
- 初めてLGスマートWebビューアを接続する時、LGスマートWebビューアプログラムをインストールするために、セキュリティ警告ウィンドウが表示されます。LG IPデバイスを使用するために、必ずLGスマートWebビューアプログラムをインストールする必要があります。
- お使いのコンピューターまたはネットワークがプロキシまたはファイアウォールで保護されている場合、プロキシまたはファイアウォールの設定は、LGスマートWebビューアプログラムを保護することができます。プロキシまたはファイアウォールの設定を変更して、LGスマートWebビューアプログラムを有効にします。
- ウィンドウズのIEブラウザを使用し、バージョンが9.0以上であることを確認してください。Firefox、Google以外の他のブラウザは使用しないでください。

LGスマートWebビューアの概要

プレビュー



項目	説明
	1つ目のストリームビデオをプレビューします。(デフォルト表示) 注意： ご自分でストリームの構成を設定することができます。これによって、ユーザー自身が快適なライブビューを設定するのが容易となります。
	2つ目のストリームビデオをプレビューします。
	3つ目のストリームビデオをプレビューします。
 オリジナルの縦横比	IPCの解像度に応じてビデオ映像の比率を固定します。
 ウィンドウに合わせる	ウィンドウに合わせてビデオ映像を表示します。
 ローカル録画	ボタンをクリックすると、ビデオが自動的に録画されます。録画を停止するには、録画中にこのボタンをクリックしてください。 デフォルト保存のパスは： D:\NetVideoBrowser\RecordFiles
 スナップショット	このボタンを押すと、現在の画像がお使いのコンピューター上にJPEG形式で自動的に保存されます。 デフォルト保存のパスは： D:\NetVideoBrowser\CapturePics
 トークバック	このボタンをクリックして、インターホンを開始します。インターホンを停止するには、このボタンをもう一度クリックします。

 <p>オープンオーディオ</p>	<p>コンピューターのスピーカーの音量を調整します。スピーカーのアイコンをクリックして、サウンドのオン・オフを切り替えます。</p>
 <p>ミュート設定</p>	<p>サウンドをオフに切り替えたい時は、スピーカーのアイコンをクリックします。</p>
 <p>フルスクリーン</p>	<p>このボタンをクリックしてフルスクリーンを入力し、終了する時はスクリーンをダブルクリックするか、または[Esc]キーを押してください。</p>

システムの設定

PTZコントロール



注意：

この機能は、RS-485端子付のカメラでのみサポートしています。

PTZコントロール



- > 方向を制御するための8つのボタンを示しています。
 ボタンをクリックして、オートスキャン機能を有効にします。

速度



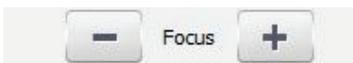
- > 調整バーを動かして速度を調整します。0～100の範囲です。

ズーム



- > 光学およびデジタルズームを含め、ズームインまたはズームアウトすることができます。

フォーカス



- > オートフォーカスが正確に動作しない時は、対象物がどれくらい離れているかに応じて手で対象物にピントを合わせます。

Iris



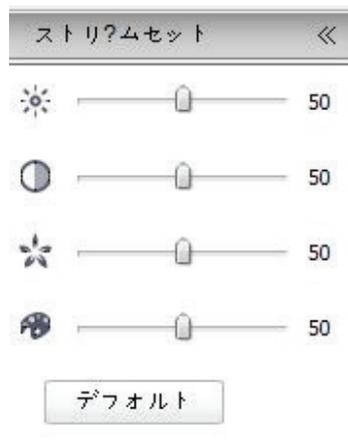
- > 手で絞りを起動または遮断します。

PTZポジション



1. プリセット番号を入力し、検索  ボタンをクリックします。
2. 希望するプリセットポジションで  [セット] または  [コール] します。
 - >  [セット]
プリセットを設定し、プリセットポジションを追加し、複数のプリセットの追加をサポートします。
 - >  [コール]
プリセットを呼び出し、プリセットポジションにスピードドームを作ります。

ストリームセット

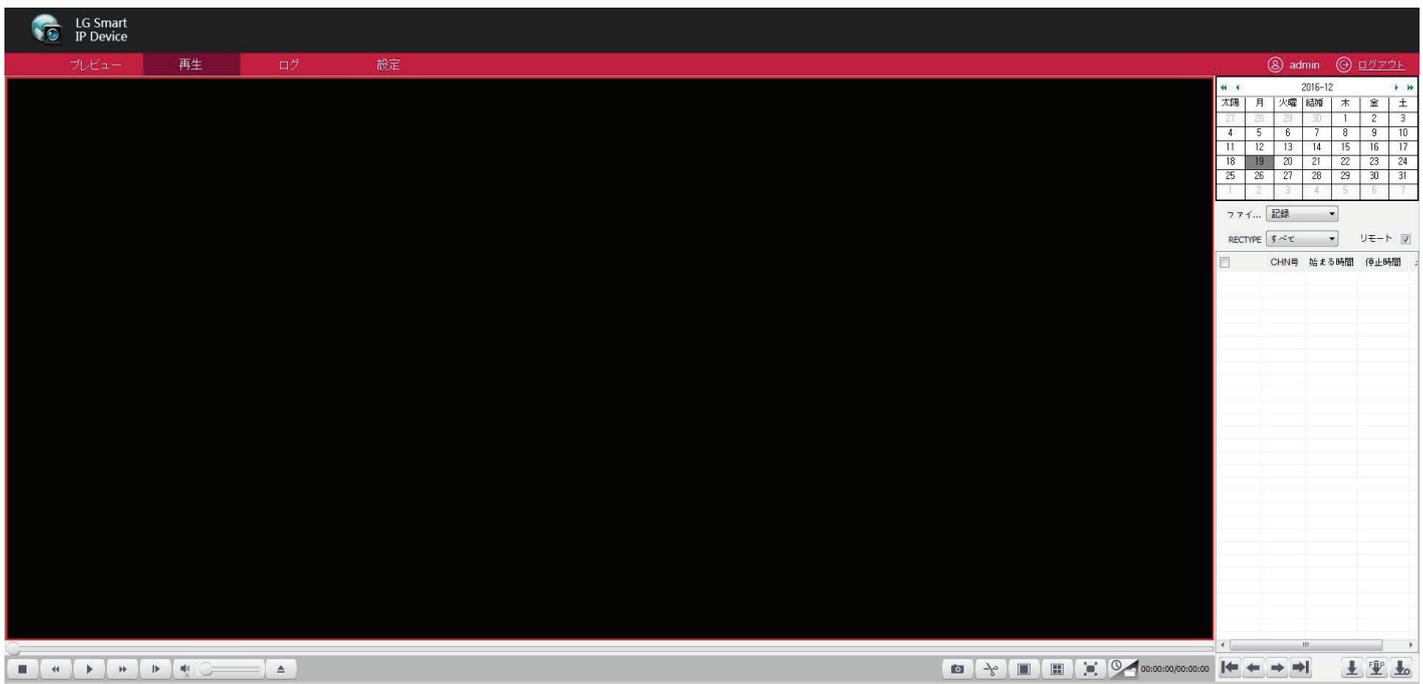


1. [ストリームセット]をクリックし、パラメータ設定のインターフェースを開きます。
2. 調整バーをドラッグし、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。

注意：

- [デフォルト]ボタンをクリックして、デフォルト設定を変更します。
- パラメータを変更した後、再起動する必要があります。

再生



録画ファイルの検索

2016-12						
太陽	月	火曜	結婚	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

ファイ...

RECTYPE リモート

1. スケジュールの中の日付をダブルクリックして、ファイルを検索します。
2. [ファイルの種類]の中から[記録]または[画像]を選択します。
3. [リモート]ボックスにチェックをして、録画形式を選択します。
4. [RECTYPE]の中から目的のファイルの種類を選択します。

録画ファイルのダウンロード

- > 目的のファイルをチェックして、ダウンロードします。
 -  をクリックして、録画ファイルをダウンロードします。
 -  をクリックして、ファイルをFTPサーバー内にダウンロードします。
 -  をクリックしてダウンロードステータスをプレビューし、必要に応じて一時停止または削除します。

注意：

ダウンロード管理は、ローカルダウンロードのみをサポートしています。

再生

- > 再生するために検索した録画ファイルをダブルクリックします。
- >  をクリックして、ローカル録画ファイルを選択します。
- >  をクリックして再生します。 は、クリックすると一時停止  に変わります。
- >  をクリックして、前方に2X、4X、6X、8Xの速度で高速移動（高速再生）します。
- >  をクリックして、前方に1/2X、1/4X、1/6X、1/8Xの速度でゆっくり移動（低速再生）します。
- >  をクリックして、フレーム単位で再生します。
- > ミュートするには  をクリックし、ミュートをキャンセルするには  をもう一度クリックします。
- >  をクリックして停止します。

スナップショットの記録

 をクリックして、ビデオの再生中に画像をキャプチャします。
デフォルト保存のパスは D:\NetVideoBrowser\PlaybackPics。

ビデオクリップ

 をクリックして、ビデオの再生中にビデオクリップをカットします。1回クリックして開始し、もう一度クリックして終了します。デフォルト保存のパスは D:\NetVideoBrowser\PlaybackFiles。

4画面再生

 をクリックして、それぞれの画面を別々に再生できる4つの画面で同時に再生します。1つの画面を選択して、希望する録画ファイルを開きます。

注意：

 をクリックすると、1画面に戻ります。

フルスクリーン

画面をダブルクリックするか、 ボタンをクリックして、フルスクリーン状態を入力します。フルスクリーンモードを終了するには、スクリーンをダブルクリックするか、[Esc]キーを入力します。

スイッチモード

 をクリックして、スイッチモードを再生します。

ログ検索

[ログ] をクリックして、ページを入力します。

The screenshot shows the 'Log Search' interface of an LG Smart IP Device. At the top, there are navigation tabs: 'プレビュー' (Preview), '再生' (Play), 'ログ' (Log), and '設定' (Settings). The 'ログ' tab is active. The interface includes a search form with the following fields:

- チャンネル番号 (Channel Number): 全てのチャンネル (All Channels)
- ログの種類 (Log Type): 全てのタイプ (All Types)
- 始まる時間 (Start Time): 12/19/2016 00:00
- 終了時間 (End Time): 12/19/2016 23:59
- クエリ? (Query?) button

Below the search form is a table with the following columns: 見え (View), チャンネル (Channel), タイプ (Type), 時間 (Time), ユーザー (User), and コンテンツ (Content). The table is currently empty.

At the bottom of the interface, there are navigation buttons: 先頭ページ (First Page), 前のページ (Previous Page), 次のページ (Next Page), 最後のページ (Last Page), 合計0ページ/0アイテム (Total 0 pages/0 items), ジャンプする (Jump to), エクスポート現在のページ (Export Current Page), and すべてのページをエクスポート (Export All Pages).

- > チャンネル番号: 検索したいチャンネルを選択します。
- > ログの種類: 検索したいログの種類を選択します。
- > 始まる時間: 開始日時を選択します。
- > 終了時間: S終了日時を選択します。
- クエリー: プリセット時間にログファイルを作成します。
- 多くのページがある場合、[先頭ページ]、[前のページ]、[次のページ]、[最後のページ]をクリックして、ログを確認するか、または目的のページに[ジャンプするには]することができます。
- エクスポート現在のページ: [エクスポート現在のページ]をクリックして、お使いのコンピューターに現在のページのログをエクスポートします。D:¥NetVideoBrowser に保存されます。
- すべてのページをエクスポート: [すべてのページをエクスポート]をクリックして、お使いのコンピューターにすべてのページのクエリをエクスポートします。D:¥NetVideoBrowser に保存されます。

LGネットワークカメラデバイスのコンフィギュレーション

LG IPカメラの機能とオプションは、コンフィギュレーションメニューで設定されます。

管理者レベルのユーザーのみが、コンフィギュレーションメニューにアクセスする権限を持っています。

アドバンス設定	ファイルの場所	
	システムセット	
	システム・メンテナンス	
	アクセスプラットフォーム	

コンフィギュレーションメニューへのアクセス

[コンフィギュレーション]ボタンをクリックし、LGスマートWebビューアのコンフィギュレーションウィンドウを表示します。

警告:

コンフィギュレーションの設定は、資格のあるサービス要員またはシステムの設置業者が行う必要があります。

コンフィギュレーション

コンフィギュレーションメニューの概要

以下の表は、メニュー項目の一覧を示しています。

コンフィギュレーションの画像は、各モデルにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー	注記
オーディオビデオセット	ストリームセット	
	オーディオセット	
	キー領域	
	画像パラメータ	
カメラのセット	イメージセット	
	スケジュール	
	D / Nセット	
VCA	アラーム情報	
	ルールの作成	
	VCAスケジュール	
	高度な	技術者用
OSD	OSD	
	ロゴ	
	プライバシーマスク	
保管管理	レコードポリシー	
	プリアラーム記録	
	ストレージの設定	
	スナップショットセット	
	ディスク管理	
	ネットストレージ	
ネットワーク管理	TCP / IP設定	
	登録センター	
	ネットワークサービス	
	IPフィルタ	
ユーザー管理	ユーザー管理	
警報管理	アラーム入力	
	警報出力	
	モーションアラーム	
	マスク・アラーム	
	メールアラーム	
	アラームサーバー	サポートしていません
PTZ管理	シリアルポートの設定	RS-485

オーディオビデオセット

ストリームセット

希望するチャンネルを選択します。

一般的な設定

- > ストリーム型:ストリームの種類を選択します。
- > 解決:解像度を選択します。
- 注意:**
解像度の種類は、ストリームの種類によって異なります。
- > ビットレート:ビットレートを入力します。32~16384 Kbpsの範囲です。
- > フレームレート:フレームレートを選択します。
- > N / Pモード:N/Pモードを[PAL]または[NTSC]に切り替えます。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- > 優先:[品質]と[フレームレート]の間で希望する優先順位を設定します。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- > ビデオ画質:希望するビデオの品質を設定します。[より良いです]と[ベスト]の品質は、ストリーミングの帯域幅の作業が可能です。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- > Iフレーム間隔:それぞれ2つのI-フレームに対するインターバル時間を設定します。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- > 符号化モード:ビットレートを定数または変数に設定することができます。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- > スムーズなビデオストリーミング:設定バーを「明瞭」から「スムーズ」まで動かして、ビデオストリーミングを調整します。

注意:

このモードは、3つ目のストリームには対応していません。

- セーブ:全ての設定を保存します。
- 輸出する: 全てのパラメーターの設定ファイルのバックアップを行うために [輸出] をクリックし、D:\NetVideoBrowser\VideoParam.dat)に保存します。
- インポート: パラメーター設定のバックアップファイルをインポートするために [インポート] をクリックします。D:\NetVideoBrowser\VideoParam.dat)に保存します。

高度な設定

注意:

解像度の種類はストリームの種類によって異なります。

- > 回廊モード:コリドーモードを[に]または[オフ]に切り替えます。

注意:

コリドーモードは720P以上の解像度でのみサポートされます。

- > ビデオ符号化:ビデオエンコーディングの種類を選択します。
- > 拡大符号:拡張コードを選択します。

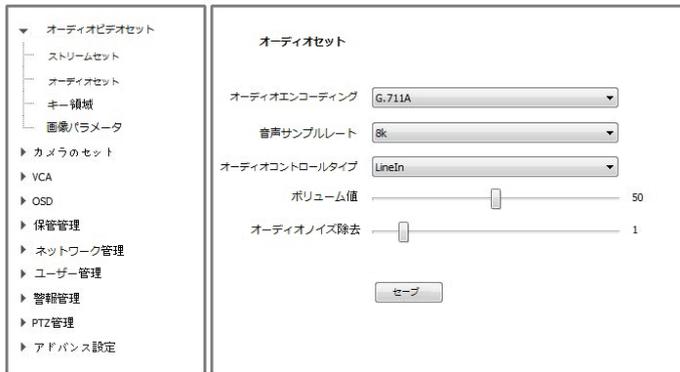
注意:

拡張コードは、[H.264]タイプにのみ設定することができます。

- > チャンネルタイプ:(このモードは有効になっていません。)
- > 暗号化タイプ:暗号化の種類を設定します。[AES]暗号化がサポートされており、デフォルトタイプは[暗号化されていません]になっています。
- > 暗号化パスワード:パスワードを入力します。
- > パスワードの確認:パスワードをもう一度入力します。
- > 電子画像安定化:電子画像安定化機能を[無効にします]または[有効にします]に切り替えます。デフォルトの設定は[無効にします]になっています。
- > SVC:SVC機能を[無効にします]または[有効にします]に切り替えます。デフォルトの設定は[無効にします]になっています。

- セーブ:全ての設定を保存します。
- 輸出する: 全てのパラメーターの設定ファイルのバックアップを行うために [輸出] をクリックし、D:\NetVideoBrowser\VideoParam.dat)に保存します。
- インポート: パラメーター設定のバックアップファイルをインポートするために [インポート] をクリックします。D:\NetVideoBrowser\VideoParam.dat)に保存します。

オーディオセット



- > **オーディオエンコーディング:**オーディオエンコーディングの種類を選択します。
- > **音声サンプリングレート:**オーディオサンプリングレートを選択します。
- > **オーディオコントロールタイプ:**オーディオコントロールの種類を選択します。[LineIn]を選択してオーディオ入力を有効にし、[MicIn]を選択して受動入力します。
- > **ボリューム値:**調整バーを動かしてボリューム値を調整します。1～100の範囲です。
- > **オーディオノイズ除去:**音声からノイズを除去するには、調整バーを動かしてオーディオノイズ値を調整します。1～9の範囲です。
- **セーブ:**全ての設定を保存します。

注意:

パラメータを変更した後、再起動する必要があります。

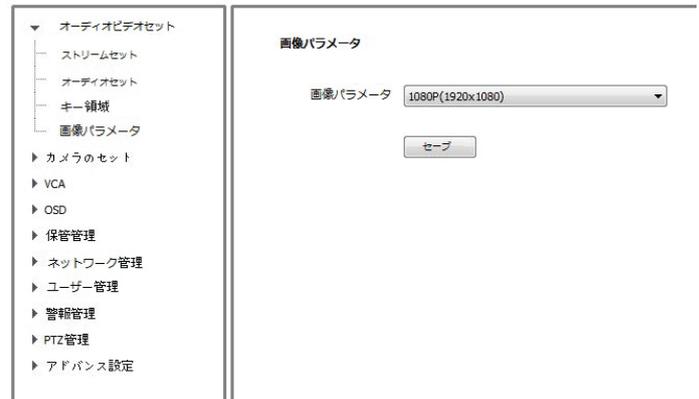
キー領域

ビデオ上のいくつかの領域においてより良い画質を持つために、各ビデオに対して設定可能な4つの領域があります。



- > **ストリーム:**希望するストリームを選択します。
- 注意:**
 - このモードは、3つ目のストリームには対応していません。
- > **アップグレードのレベル:**アップグレードするレベルを選択します。
- > **描画を開始:**[描画を開始]ボタンをクリックして、マウスを利用してキー領域を描画します。
- > **ラインをクリア:**[ラインをクリア]ボタンをクリックして、ラインをクリアします。
- > **エリアを削除します。:**[エリアを削除します。]ボタンをクリックして、描画した領域を削除します。
- **セーブ:**全ての設定を保存します。

画像パラメータ



- > **画像パラメータ:**画像パラメータを選択して、画像を調整します。
- **セーブ:**設定を保存します。

カメラのセット

イメージセット

このページでは、ビデオ画像パラメータを設定します。

- > 現在のテンプレート:修正すべきテンプレートを選択します。本システムは異なるアプリケーションのための8つのビデオテンプレートを提供しており、全てのビデオパラメータはテンプレートにおいて変更および保存することができます。
- > テンプレート名:テンプレート名を入力します。

イメージ調整



- > 調整バーを動かすことによって、画像の明るさ、コントラスト、彩度、色相、シャープネスを調整します。

露出設定



- > シャッター:調整バーを動かして、最大露出時間を設定します。

注意:

露出時間が長すぎると移動物体の画像が不明瞭になり、露出時間が短すぎると画像の色がより黒くなります。

- > 利得:画像の明るさに影響を与える最大ゲインを調整します。

注意:

ゲインが高すぎると、多くのノイズが発生します。

- > 輝度:調整バーを動かして、画像の明るさを調整します。
- > 自動絞り:自動絞り機能を有効または無効に設定します。
- > 自動露出スピード:調整バーを動かして、自動露出速度を設定します。

バックライトセット



- > Smart IR:[Smart IR]機能を切り替えます。この機能は、IRカメラにおいて画像が露出過度になった場合にカメラが露出過度に応じて明るさを下げて、対象物が見えなくなる現象を避けるためのものです。
- > HLC:HLC (ハイライトコントロール) 機能を有効または無効に設定します。主に輸送において使用されます。[HLC]をオンにすると、車のヘッドライトのハイビームが抑えられます。
- > WDR:WDRモードを選択します。
 - 閉じる:WDRモードを無効にします。
 - 逆光補正:チェックボックスをクリックして、背光性領域を設定します。
 - WDR Auto:WDR機能を自動的に設定します。[スーパーワイドダイナミックグレード]のスライダーをドラッグして、環境に適したWDRレベルを設定します。
 - WDR Manual:WDR機能を手動に設定します。[スーパーワイドダイナミックグレード]のスライダーをドラッグして、環境に適したWDRレベルを設定します。

ホワイトバランス



- > ホワイトバランス:実際のシーンの応じてホワイトバランスモードを選択します。[セミオート]または[ハンドル]を選択した場合は、要求に合わせて赤と青のバランスを調整することができます。(Rは赤のゲイン、Bは青のゲインです。)



- > 画像スタイル:画像のスタイルを選択します。
- > 屋内/屋外:屋内または屋外モードを選択します。
- > 曇りを取り除きます:霧除去機能を有効または無効に設定します。[有効にします]を選択した場合、スライダーをドラッグして[曇りを取り除きます]の値を調整することができます。
- > デジタルノイズリダクション (DNR): デジタルノイズリダクション
 - 閉じる: DNRモードを無効にします。
 - 通常モード:スライダーをドラッグして、[ノイズ除去レベル]を調整することができます。
 - エキスパートモード:スライダーをドラッグして、[スペースドメインノイズ除去]および[時間領域ノイズ除去]を調整することができます。

注意：

設定した後、[セーブ]をクリックします。

- 輸出する:[輸出する]をクリックして、現在のHDパラメーターテンプレートを特定の場所にエクスポートします (デフォルトのアドレスは D:\NetVideoBrowser\HDPPara.dat)。このテンプレートは、他の同じモデルのカメラで使用することができます。
- インポート:[インポート]をクリックして、HDパラメーター設定ファイルをデフォルトのアドレスからインポートし (デフォルトのアドレスは D:\NetVideoBrowser\HDPPara.dat)、迅速に設定を完了します。
- デフォルト:[デフォルト]をクリックすると、各テンプレートのパラメーターが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

スケジュール

ユーザーは、異なる時間帯に最高の画質を得られるようにデバイスを設定することができます。最大8個の時間帯まで提供しています。

各時間帯のスケジュールを設定するために、タイムラインをチェックして画像モードを選択します。テンプレート時間を調整するには、分割線をドラッグします。色の違いは、異なるスケジュールを意味しています。



- 輸出する:[輸出する]をクリックして、現在の画像スケジュールを特定の場所にエクスポートし (デフォルトのアドレスは D:\NetVideoBrowser\HDSchedulePara.dat)、このテンプレートは他の同じモデルのカメラで使用することができます。
- インポート:[インポート]をクリックして、画像スケジュールをデフォルトのアドレスからインポートし (デフォルトのアドレスは D:\NetVideoBrowser\HDSchedulePara.dat)、迅速に設定を完了します。

D / Nセット (デイ&ナイト設定)

IPカメラを設定して、昼間および夜間にそれぞれ異なるルールに切り替えます。



- > リアルタイム明るさ: 映像のリアルタイムの輝度値を表示します。
- > カラー/ WタイプBに:
 - オート (内側):カメラが自動的にビデオ画像を検出します。輝度値が昼間よりも高い場合は、ビデオがカラーになります; 輝度値が夜間よりも低い場合はビデオがグレースケールになります。
 - B/W:ビデオが常にグレースケールになります。
 - 色:ビデオが常にカラーモードになります。
 - オート (外側):デバイスが感光体によって外部環境の明るさを検出します。外部の明るさが昼間よりも明るい場合は、ビデオがカラーになります; 外部の明るさが夜間よりも暗い場合はビデオがグレースケールになります。(IRカメラでのみ)
 - スケジュール:ユーザーは、昼と夜の時間を調整することができます。
 - 自己適応できます:カラーモードでは、IPCは内部同期センサーによって明るさを検出して分析します。明るさが設定された夜間の明るさよりも暗い場合、画像は[B/W]モードでの白黒に変わります。カラーモードでは、IPCは外部同期フォトレジスタによって明るさを検出して分析します。明るさが設定された昼間の明るさよりも明るい場合、画像はカラーに変わります。

アラーム情報



- > イベント: 'すべて'VCAイベントまたは他の特定のイベントを選択します。
- > ルールID: 'すべて'ルールのアラーム情報または他の特定のアラーム情報を選択します。
- クリア: 現在のリストから全てのアラーム情報をクリアします。
- リセット: 現在のアラーム情報をクリアし、次のイベントの中の1つから始まります。

ルールの作成

[ルールの作成]メニューを選択すると、プロンプトメッセージが表示されます（豆知識：設定中にはVCAが中断されます！）このメッセージを確認またはキャンセルします。



- > 有効にします/無効にします:現在のチャンネルのVCA機能をオンまたはオフにします。
- > 算術演算を有効にします:行動分析と群集検出機能は、一度に一つだけ有効にすることができます。ビデオとオーディオの異常検出は、解析機能と一緒に同時に動作することが可能です。

注意：

行動分析、ビデオ検出および音声の異常検出は、[アラームの設定]に入り、「有効時間」および「アラームトリガープレート」を設定し、[セーブ]する必要があります。

- セーブ:VCA設定を保存します。

[行動分析]-事象集合:[仕掛け線]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意：

[有効な]にチェックをしてください。1本のルールラインが描かれ、ラインの矢印は横切り禁止の方向をを意味しています。

- > ルール名:ルール名を書き込みます。
- > 事象集合:[仕掛け線]を選択します。
- > パーセンテージ:全画面の中での目標物のサイズ（面積%）を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合:[ダブルTripwireの]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意：

[有効な]をチェックします。2本のルールラインが描かれており、ラインの矢印は横切り禁止の方向をを意味しています。2本のラインの方向は同じである必要があり、目標の対象物が指定した時間内に連続して2本のラインを横切る場合、警報が鳴ります。

- > ルール名:ルール名を書き込みます。
- > 事象集合:[ダブルTripwireの]を選択します。
- > 最大時間間隔:連続して2本のラインに交差する時間間隔の最大値を設定します。
- > 最小時間間隔:連続して2本のラインに交差する時間間隔の最小値を設定します。
- > パーセンテージ:全画面の中での目標物のサイズ（面積%）を設定します。

- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合: [周囲]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] にチェックをしてください。1本のルールラインが描かれ、ラインの矢印は横切り禁止の方向を意味しています。

- > 事象集合:[周囲]を選択します。
- > 検出モード:
 - [侵入]モード:[浸潤時間 (s)]に至るまで対象物が検出エリア内に留まっている時、アラームが鳴ります。
 - [入る]モード:対象物が検出エリア内に入る時、アラームが鳴ります。
 - [残します]モード:対象物が検出エリア外に出た時、アラームが鳴ります。
- > 浸潤時間 (s):対象物が検出エリア内に留まっている侵入時間を設定します。時間を超過した時、アラームが鳴ります。
- > パーセンテージ:全画面の中での目標物のサイズ (面積%) を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合: [Missing Object Detection]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] をチェックします。2本のルールラインが描かれており、ラインの矢印は交差禁止の方向を意味しています。2本のラインの方向は同じである必要があり、目標の対象物が指定した時間内に連続して2本のラインを横切る場合、警報が鳴ります。

- > ルール名: ルール名を入力してください。
- > 事象集合:[行方不明の物体検出]を選択します。

注意:

[オブジェクトAbandone]と[行方不明の物体検出]が同時に有効になっている場合、検出エリアが重なってはならないことに注意してください。

- > アラーム時刻:検出エリア内に対象物がない時間のアラームを設定します。時間を超過した時、アラームが鳴ります。
- > パーセンテージ:全画面の中での目標物のサイズ (面積%) を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合: [オブジェクトAbandone]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] をチェックします。2本のルールラインが描かれており、ラインの矢印は横切り禁止の方向を意味しています。2本のラインの方向は同じである必要があり、目標の対象物が指定した時間内に連続して2本のラインを横切る場合、警報が鳴ります。

- > ルール名: ルール名を入力してください。
- > 事象集合:[オブジェクトAbandone]を選択します。
- > アラーム時刻:対象物が検出エリア内に留まっているアラーム時間を設定します。時間を超過した時、アラームが鳴ります。
- > パーセンテージ:全画面の中での目標物のサイズ (面積%) を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

[行動分析]-事象集合: [ぶらつきます]



- > 算術演算を有効にします:行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] にチェックをしてください。1本のルールラインが描かれ、ラインの矢印は横切り禁止の方向を意味しています。

- > ルール名: ルール名を入力してください。
- > 事象集合:[ぶらつきます]を選択します。
- > アラーム時刻:対象物が検出エリア内に留まっているアラーム時間を設定します。時間を超過した時、アラームが鳴ります。
- > 感度:感度値を設定します。値が増加するほど、高感度になります。
- > ミンエリア:最小エリアの割合を調整します。対象物の動きエリアがこの[ミンエリア]と等しいかそれ以上である場合、アラーム機能が作動します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合: [パーキング]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] にチェックをしてください。1本のルールラインが描かれ、ラインの矢印は横切り禁止の方向を意味しています。

- > ルール名: ルール名を入力してください。
- > 事象集合:[パーキング]を選択します。
- > アラーム時刻:アラーム時間を設定すると、対象物がこのアラーム時間まで滞在し続ける場合、アラームが鳴ります。
- > パーcentage:全画面の中での目標物のサイズ(面積%)を設定します。
- > 速度閾値:速度閾値を設定します。動き速度(パーセント/秒)がこの[速度閾値]よりも遅い場合、アラーム機能が作動します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[行動分析]-事象集合: [ランニング]



- > 算術演算を有効にします: 行動分析
- > ルールID:ルール番号を選択します。

注意:

[有効な] にチェックをしてください。1本のルールラインが描かれ、ラインの矢印は横切り禁止の方向を意味しています。

- > ルール名: ルール名を入力してください。
- > 事象集合:[ランニング]を選択します。
- > 最小面積:最小エリアの割合を調整します。対象物の動きエリアがこの[Minimum Area]と等しいかそれ以上である場合、アラーム機能が作動します。
- > パーcentage:全画面の中での目標物のサイズ(面積%)を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

[群衆の検出]-算術: [群衆の検出]



- > 算術演算を有効にします:[群衆の検出]を選択します。
- > セーブ:[群衆の検出]設定を保存します。
- > 算術:[群衆の検出]を設定します。
- > アラーム時間(s):アラームに連結する時間を設定します。
- > パーcentage:群衆のパーcentageを設定します。

- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

映像検出]-算術: [映像検出]



- > 算術演算を有効にします:[映像検出]を選択します。
- > セーブ:[群衆の検出]設定を保存します。
- > 算術:[映像検出]を設定します。
- > レンズ診断:[レンズ診断]をチェックして、レンズを有効にします。
- > Scenenスイッチの診断:[Scenenスイッチの診断]をチェックして、画面の切り替えを有効にします。
- > 感度:感度値を設定することができます。値が高いことは、より感度が高いことを意味します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

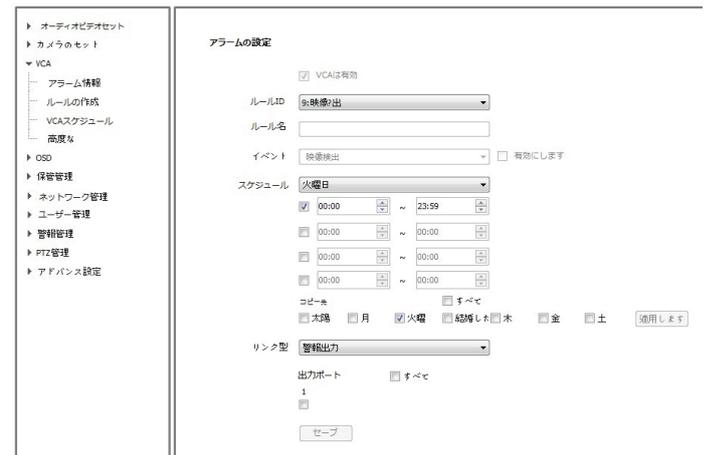
音声検知]-算術: [音声検知]



- > 算術演算を有効にします:[音声検知]を選択します。
- > セーブ:[音声検知]設定を保存します。
- > 算術:[音声検知]を設定します。
- > 信号損失検出:信号損失を有効にします。
- > 信号異常検出:異常検出を有効にします。
- > 感度:感度値を設定することができます。値が高いことは、より感度が高いことを意味します。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- 次:[アラームの設定]メニューに移動します。

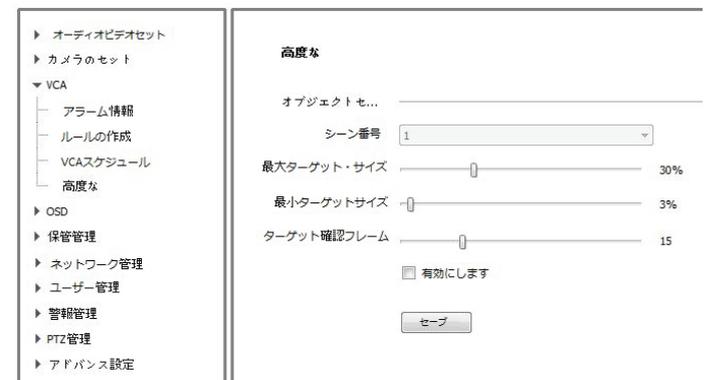
VCAスケジュール

アラームの設定



- > ルールID:[ルールID]を選択してルールを有効にします。
- > ルール名:ルール名を入力し、ルールを有効にします。
- > イベント:Rule ID情報が表示されます。
- > スケジュール:スケジュールの日付と時刻を設定します。
- > リンク型:リンクの種類を選択します。
 - 警報出力
 - リンクレック
 - リンクPTZ
 - リンクスナップ
- > 出力ポート:出力ポート[すべて]または特定のポート番号をチェックします。
- セーブ:全ての設定を保存します。

高度な



注意:

[高度な]は、設定を行う会社の技術者のみが使用可能です。

OSD

OSD

この機能は、プレビュー画面により詳細な情報を追加するために使用されます。



- > カメラタイトル:[カメラタイトル]をチェックしてチャンネル名を入力します。
 - カスタマイズされた場所:マウスを使用してビデオ画像上でチャンネル名の位置を選択します。
 - Color:OSDのカラーを選択します。
- > 日付:[日付]をチェックして、必要な日付を選択します。11のオプションの形式があります。
 - カスタマイズされた場所:マウスを使用してビデオ画像上で選択した日付の位置を選択します。
 - 色: OSDのカラーを選択します。
 - ショーウィーク:[ショーウィーク]をチェックして、週の情報を画像上に重ね書きします。
 - 24時間 / 12時間:希望する時間を選択します。
- > 追加テキスト:追加テキストのエリア番号を選択します(最大5)。その後、重ね書きする内容を入力します。英語と一般の句読点をサポートしています。
 - カスタマイズされた場所:マウスを使用してビデオ画像上で位置を選択します。
 - 色:OSDのカラーを選択します。

注意:

追加情報に特殊文字を使用することはできません(# % * \ ; ' "など)。

- > OSDサイズ:適切なピクセルサイズを選択します。デフォルトのサイズは[自己適応できます]になっています。
- > フォントの種類:
 - ベクター / 格子: オプション
- セーブ:全ての設定を保存します。

ロゴ

この機能は、プレビュー画面にロゴ画像を重ねるために使用されます。



- > ロゴファイル
 - ブラウズ:ファイルを開覧してロゴを探します。
 - アップロード:ロゴファイルをアップロードし、IPカメラが再起動します。再起動後、[有効にします]をチェックしてロゴを表示してください。
- > カスタマイズされた場所: ビデオ画像上でロゴの位置を選択します。

注意:

ロゴのフォーマットは24bitのBMPファイル、サイズは200*200未満である必要があります。高さや幅は、4つのシステムによって分けられます。自動的に背景の黒と白の画像を削除します。

プライバシーマスク

この機能は、重要な情報を保護するために、プレビュー画面上の隠し領域を設定するのに使用されます。4つの領域をサポートしています。



- > マウスで画面上に領域を描画します。4つの領域をサポートしています。
- > リージョンの削除:描かれた領域を削除します。

保管管理

レコードポリシー



- > レコードのステータス:デバイスの録画ステータスを表示します。
 - マニュアル録音:録画を開始できるようにし、停止をキャンセルします。
 - アラーム記録:アラームが鳴る時、録画開始を有効にします。
 - 連続的な:タイミング録画を開始できるようにします。
- > スケジュール:[連続的な]モードで
- > オフラインビデオ録画:オフラインビデオ録画機能をオンまたはオフにします。インターネットが切断されている場合、カメラのSDカードにタイミング録画を開始します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

プリアラーム記録

この機能は、アラームが鳴る前のプレ録画、およびアラームが切れた後の録画時間の延長のために使用されます。

- > プリアラーム記録:[プリアラーム記録]をチェックして、開始できるようにします。
- > プリアラーム時間 (5-15) :5秒、10秒、15秒をサポートしています。
- > ポストアラーム時間 (10-60) :10秒、15秒、30秒、60秒をサポートしています。
- セーブ:全ての設定を保存します。

ストレージの設定

- > 空きディスク容量 (MB) :保持したい習慣のために、空きディスク容量を設定します。512MB以上が必要です。
- > HDDがいっぱいになると:空きディスク容量が目標サイズに達した場合、システムは次の操作を実行します。
 - ストップレック:録画を停止します。
 - 上書きします:最も古い録画ファイルを削除します。
 - 上書き (アラーム録画ビデオを除外) :アラーム以外の最も古い録画ファイルを削除します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

スナップショットセット

- > タイミングキャプチャ:タイミングキャプチャを開始できるようにします。
- > 間隔:タイミングキャプチャの間隔時間を設定します。
- > キャプチャリンク
 - リンクFTP:キャプチャされた画像は、FTPサーバーにアップロードされます。
 - リンクメール:キャプチャされた画像がEメールで送信されます。
- セーブ:全ての設定を保存します。

ディスク管理

- > ディスク情報:ディスクの状態を表示します。
- > ディスクを初期化:最初に新しいハードディスクを食化する必要があります。

ネットストレージ

- > ディスク号:設定する1つのディスクを選択します。
- > 状態:ディスクのインストールステータスを表示します。[アンマウント]、[UnFormatted]、[整形]、[取り付けられた]、[使い方]はオプションです。
- > 使用法:ディスクの使用状態を表示します。[記録]、[バックアップ]、[冗長な]、[読み取り専用]はオプションです。
- > IPアドレス:NFSサーバーのIPアドレスを設定します。
- > マッピングパス:ディスクのマッピングパスを設定します。
- > 合計サイズ:空きスペースと合計サイズを表示します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

ネットワーク管理

TCP / IP設定

オーディオビデオセット
カメラのセット
VCA
OSD
保管管理
ネットワーク管理
TCP / IP設定
登録センター
ネットワークサービス
IPフィルタ
ユーザー管理
警報管理
PTZ管理
アドバンス設定

TCP / IP設定

DHCP

IPv4アドレス 192 . 168 . 1 . 2

IPv4のサブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ 192 . 168 . 1 . 1

IPv6アドレス fe80::250:c2ff:fe48:fcc5

IPv6のサブネットマスク 64

DNS 192 . 168 . 1 . 1

マック 00:50:c2:48:fc:c5

MTU 1500

イーサネット・レート (M) 自動出

セーブ

- > DHCP:[DHCP]をチェックして、DHCPサーバーを有効にします。自動的にデバイスのIPアドレスを割り当てます。
- > IPv4アドレス / IPv6アドレス:IPv4、IPv6アドレスを表示します。
- > IPv4のサブネットマスク / IPv6のサブネットマスク:IPv4、IPv6サブネットマスクを表示します。
- > マック:マルチアクセスコンピューターを表示します。
- > MTU:最大伝送単位です。500～1500の範囲です。デフォルト値は1500です。
- > イーサネット・レート (M) :モードとイーサネットカードの速度を選択し、速度単位はMBです。デフォルトモードは、[自動検出]であり、変更は推奨しません。

注意：

デバイスは、[イーサネット・レート (M)]の変更後に再起動します。

- セーブ:全ての設定を保存します。

登録センター

オーディオビデオセット
カメラのセット
VCA
OSD
保管管理
ネットワーク管理
TCP / IP設定
登録センター
ネットワークサービス
IPフィルタ
ユーザー管理
警報管理
PTZ管理
アドバンス設定

サーバーの名前

サーバーの名前

IPアドレス1

ポート1 0

IPアドレス2

ポート2 0

ユーザー名

パスワード

セーブ

- > サーバーの名前:サーバー名を設定します。
- > IPアドレス1 / IPアドレス2: IPアドレスを設定します。
- > ポート1 / ポート2: ポートを設定します。
- > ユーザー名:ユーザー名を入力します。
- > パスワード:パスワードを入力します。

- セーブ:全ての設定を保存します。

ネットワークサービス

DDNS

オーディオビデオセット
カメラのセット
VCA
OSD
保管管理
ネットワーク管理
TCP / IP設定
登録センター
ネットワークサービス
IPフィルタ
ユーザー管理
警報管理
PTZ管理
アドバンス設定

ネットワークサービス

DDNS 有効にします

サーバー・ドメイン nvs.3322.org

DDNSドメイン www.3322.org

ユーザー名 nvs

パスワード ●●●

パスワードの確認 ●●●

セーブ

FTP
PPPoE
NTP
MUC
他の

- > 有効にします:[有効にします]をチェックして、DDNSを有効にします。
- > サーバー・ドメイン:サーバドメインを変更します。
- > DDNSドメイン:DDNSドメインを変更します。
- > ユーザー名:ユーザー名を入力します。
- > パスワード:パスワードを入力します。
- > パスワードの確認:パスワードをもう一度入力します。

- セーブ:全ての設定を保存します。

注意：

[DDNS]を使用するために、ドメインを[DDNS]サーバーに登録する必要があります。登録プロセスと手順については、関連サイトで案内されています。

FTP

オーディオビデオセット
カメラのセット
VCA
OSD
保管管理
ネットワーク管理
TCP / IP設定
登録センター
ネットワークサービス
IPフィルタ
ユーザー管理
警報管理
PTZ管理
アドバンス設定

ネットワークサービス

DDNS FTP

使用方法 ダウンロード

サーバーのURL

ポート 21

パス

ユーザー名

パスワード

セーブ

PPPoE
NTP
MUC
他の

- > サーバーのURL:サーバーのURLを入力します。
- > ポート:ポートを設定します。
- > パス:ダウンロードする経路を入力します。
- > ユーザー名:ユーザー名を入力します。
- > Password:パスワードを入力します。

- セーブ:全ての設定を保存します。

- > 有効にします:[有効にします]をチェックして、PPPoE機能を有効にします。
- > ユーザー名:ユーザー名を入力します。
- > パスワード:パスワードを入力します。
- > パスワードの確認:パスワードをもう一度入力します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

NTP

- > NTPサーバー:NTPサーバーを入力します。
- > ポート:ポートを設定します。
- > 時間間隔(分):間隔を設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

- > IPアドレス:IPアドレスを入力します。
- > ポート:ポートを設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

他の

- > 有効UPNP:[有効UPNP]ボックスをチェックしてデバイスを再起動し、UPnP機能を有効にします。
- > SNMPの有効化:[SNMPの有効化]ボックスをチェックしてデバイスを再起動し、SNMP機能を有効にします。
- > HTTPポート:HTTPポートを入力し、デバイスを再起動します。
- > HTTPSポート:HTTPSポートを入力し、デバイスを再起動します。
- > RTSPポート:RTSPポートを入力し、デバイスを再起動します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

IPフィルタ

ブラックリストおよびホワイトリストはまた[IPフィルタ]とも呼ばれ、ユーザーのアクセス権を管理するために使用されます。



> IPフィルターを設定します。

- **Forbidden:** 全てのブラックリストおよびホワイトリストをキャンセルします。
- **ブラックリスト:** 一部のIPアドレスをブロックするために使用されます。ブロックIPアドレスを入力し、[加えます]、[セーブ]を入力します。最大16までのブラックリストIPアドレスを追加できます。

注意：

ブラックリストに自分のIPアドレスを追加しないでください。追加した場合、ログインできなくなります。

- **ホワイトリスト:** 一部のIPアドレスのみが許可された時に選択します。信頼できるIPアドレスを入力し、[加えます]、[セーブ]をクリックします。最大16までホワイトリストのIPアドレスを追加できます。

注意：

一旦ホワイトリスト機能を有効にしたら、必ず自分のIPアドレスをホワイトリストに追加してください。そうしないと、デバイスにログインすることができません。

- > **加えます:** IPフィルター設定に従って、ブロックするIPアドレスまたは信頼できるIPアドレスを追加します。
 - > **削除:** 一部のブロックIPアドレスを削除します。左のチェックボックスを選択し、[削除]をクリックします。
- **セーブ:** 全ての設定を保存します。

注意：

IPフィルタリングは、新しいユーザーがログインする時のみ認識しますが、既にあるIPには働きません。ブラックリストとホワイトリストを設定する度に、毎回機器を再起動することを強くお勧めします。

ユーザー管理

ユーザー管理

ユーザーの追加

[ユーザー管理]の[加えます]ボタンをクリックしてユーザーを追加します。

注意：

管理者のみがユーザーを追加および変更できます。



- > **ユーザー名:** ユーザー名を入力します。
- > **パスワード:** パスワードを入力します。
- > **パスワードの確認:** もう一度パスワードを入力します。

注意：

ユーザー名とパスワードは、英文字と数字のみを入力できます。

> **権限**

- **ブラウズ:** プレビューおよび再生を行います。
- **ブラウズ+コントロール:** プレビュー、再生、PTZとLogの制御を行います。
- **コントロール+セットを閲覧します:** ユーザー権限以外の全ての操作を許可します。
- **管理者:** 全ての操作を行うことができます。

- **加えます:** [加えます]をクリックしてユーザーを追加します。

パスワードの変更

ユーザーリストの中からパスワードを変更するユーザーを選択します。



- > **障害者変更:** [ユーザー管理]の[障害者変更]ボタンをクリックして、パスワードを変更します。
- > **旧Pwds:** 既存のパスワードを入力します。
- > **新Pwds:** 変更するパスワードを入力します。
- > **パスワードの確認:** もう一度変更するパスワードを入力します。

- **修正します:** このボタンを押して、設定を保存します。

ユーザーの削除

ユーザーリストの中から削除したいユーザーを選択します。



- > 削除:[ユーザー管理]の[削除]ボタンをクリックして、ユーザーを削除します。

警報管理

アラーム入力

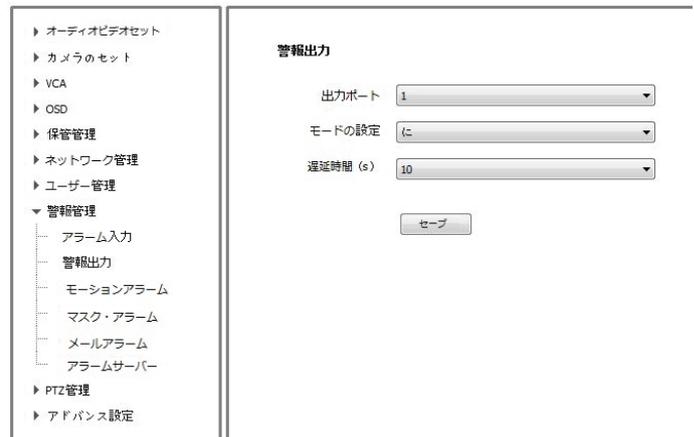


- > 入力ポート:[入力ポート]を選択して、[有効にします]ボックスをチェックし、ポートのアラーム機能を有効にします。アラーム検出機能を閉じる場合は、キャンセルします。
- > モードの設定:機能のモードをオンまたはオフに切り替えます。「閉回路アラーム」および「開回路アラーム」を含んでいます。
 - に:回路のアラームを閉じます。切断された回路に短絡が生じる場合、アラームが作動します。
 - オフ:回路のアラームを開きます。接続している回路が切断された場合、アラームが作動します。
- > スケジュール:日付と時刻を設定します。スケジュール中のみアラームが作動します。
- > リンク型:アラームの起動を設定します。
 - 警報出力
 - リンクPTZ
 - リンクスナップ
- セーブ:全ての設定を保存します。
- へのコピー...:別の出力ポートにコピーします。

注意:

アラーム機能は、アラームのイン/アウトをサポートする製品でのみ使用可能です。

警報出力



- > 出力ポート:出力ポートを選択します。
- > モードの設定:モード設定のオンまたはオフを選択します。
- > 遅延時間 (s):遅延時間を選択します。

- セーブ:全ての設定を保存します。

モーションアラーム



- > [有効にします]ボックスにチェックして、[モーションアラーム]を有効にします。次に、マウスの左ボタンでドラッグして領域を描画します。[リージョンの削除]をクリックして、描画した領域を削除します。
- > 感度:0~100の範囲です。値が小さいと、より感度が高いことを意味しています。
- > スケジュール:日付と時刻を設定します。スケジュール中のみアラームが作動します。
- > リンク型
 - 警報出力
 - デュアルライトをアクティブに:ダブルライトのあるモデルでのみ使用されます。夜には、動き検知に連結された白いライトがオンになります。「ナイトモード」(「ホワイト&ブラック」モード)の下では、IR LEDがオンになります。「デイモード」(「カラー」モード)の下では、IR LEDがオフになります。動きアラームが消えると、ダブルライトがオフになります。

注意:

動きを検出して白色のLEDが点灯すると、カメラ映像が白黒に変換される条件に従って、映像のナイトモードおよびデイモードが決定されます。

ナイトモード:B/Wを維持します。
デイモード:カラーを維持します。

- リンクスナップ

- セーブ:全ての設定を保存します。

マスク・アラーム

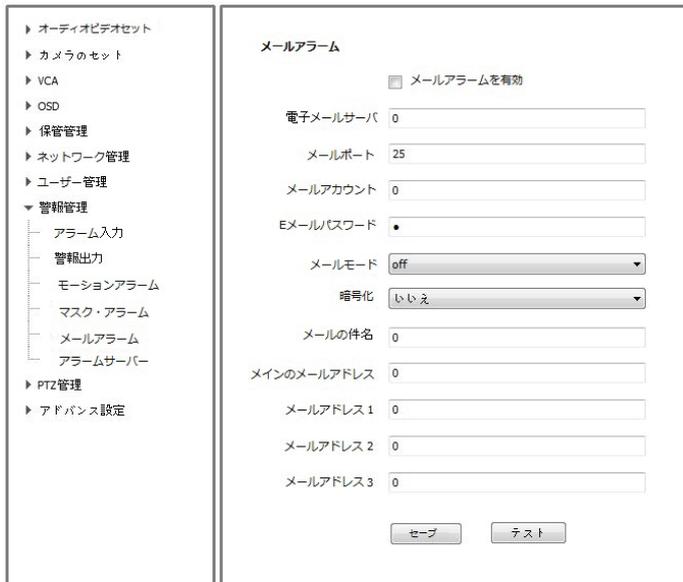
ビデオが覆われている場合、感度設定に応じてシステムのアラームが作動します。



- > 「有効にします」ボックスをチェックして、ビデオ閉鎖検出機能を有効にします。
- > 感度:小さい数は、より感度が高いことを意味しています。
- > スケジュール:ビデオ閉鎖検出は、このスケジュール時間のみ機能します。
- > リンク型:アラームが作動した後、(リンクPTZのような)リンクに連結されるように設定します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

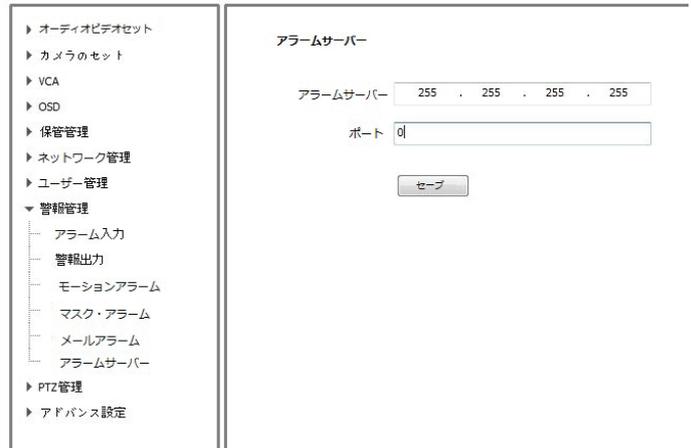
メールアラーム

この機能を有効にすると、アラームが作動した時に、アラームサーバーが設定したEメールアドレスに自動的にEメールを送信します。



- > 「メールアラームを有効」ボックスをチェックして、この機能を有効にします。
- > 電子メールサーバ:アドレスの形式は「smtp.xx.com」である必要があります。XXは、「smtp.gmail.com」のようなEメールサーバーを表しています。
- > メールポート:デフォルト数は25です。
- > メールアカウント: Eメールを送信するためのEメールアカウントを入力します。
- > Eメールパスワード: Eメールを送信するためのEメールパスワードを入力します。
- > メールモード: Eメールモードを選択します。[ログイン]画面が表示されます。
- > 暗号化: 暗号化モードを選択します。
- > メールの件名: Eメールの件名を設定します。
- > メールアドレス: Eメールアドレスを設定します。Eメールを受信するためのものです。
- セーブ:全ての設定を保存します。
- テスト: Eメールのアラーム機能をテストします。

アラームサーバー



- > アラームサーバー:アラームサーバー情報をカスタマイズすることができます。アドレスを入力します。
- > ポート:ポート番号を入力します。
- セーブ:全ての設定を保存します。

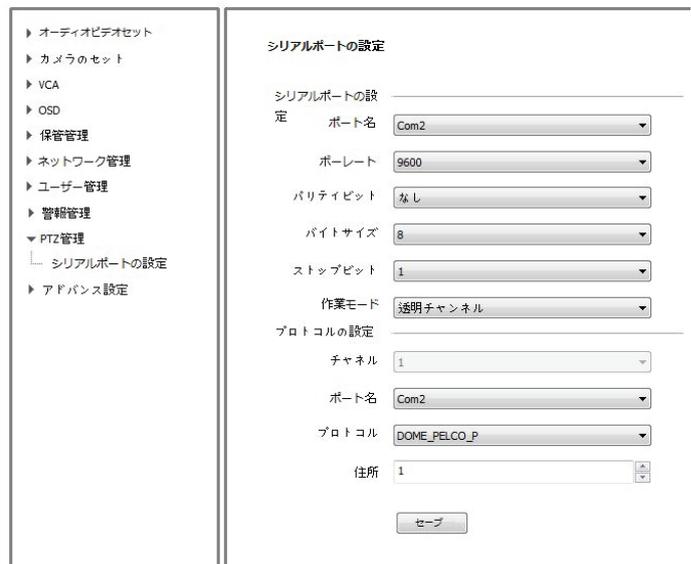
PTZ管理

シリアルポートの設定

PTZ管理には、[シリアルポートの設定]および[プロトコルの設定]が含まれています。

注意:

RS-485の通信をサポートするデバイスをIPカメラに接続した後、シリアルポートを設定してデバイスを使用します。



アドバンス設定

ファイルの場所



- > ストリーム:特定のチャンネルのためのストリームを選択します。
- > 表示フレーム及びビットレート情報:チェックすると、ビデオにフレームレートとビットストリームが表示されます。
- ブラウズ:クリックしてファイルの保存パスを選択します。
 - > パフォーマンスを再生:滑らかさと遅延との間のバランスを合わせるために設定します。
 - > プロトコルタイプ:プロトコルタイプを選択します。
 - > ローカルキャプチャ形式:キャプチャの保存形式を選択します。

システムセット



- > システムインフォメーション:[CPU]、[メモリ]、[フラッシュ]の情報を表示します。

注意:
[リフレッシュ]ボタンをクリックすると、表示情報の値が現在の状況に応じて変更することがあります。
- > バージョン情報:デバイスのバージョン情報を表示します。
- > 言語とタイムゾーン:タイムゾーンと時刻の同期を設定します。
 - 夏時間:夏時間をサポートしています。
- セーブ:全ての設定を保存します。

システム・メンテナンス



- > 装置制御
 - 工場出荷時の設定
 - リポート
 - アイリス修正
 - レンズリセット
 - リモートサービスを開きます。
- > ファームウェアのアップグレード:新しいファームウェアにアップグレードします(ファームウェア形式:*.box/.bin)。アップグレードのプロセスが完了したことが表示されるまで、数分を必要とします。ファームウェアのアップグレードのために、技術的な専門家の支持に厳密に従ってください。
- > イン/アウトの設定:3種類の仕様が含まれています。
 - 警告:この仕様には、アラームスケジュールおよびリンク情報が含まれています。VCA情報は含まれていません。
 - VCA:この仕様には、スケジュール、ルールおよび関連する設定が含まれています。
 - システムセット:この仕様には、OSD、録画戦略、インターネット設定および他の一部の設定などの「アラーム」および「VCA」仕様以外の情報が含まれています。

アクセスプラットフォーム

PUセット



- > ユーザー(は、[サーバーの登録]のIPアドレスおよびポート番号を設定することができます。[ハートビートサーバ]、[アラームサーバ]、VSPのポート番号およびVAPのポート番号です。
- > [チャンネル番号]は、[自動充填セット] 機能をサポートしています。

- セーブ:全ての設定を保存します。

SIPの設定

- > ユーザーは [SIPの設定] を設定することができます。
- > [チャンネル番号] は [自動充填セット] 機能をサポートしています。

- セーブ:全ての設定を保存します。

プラットフォームの有効

- > プラットフォーム一覧:[onvif]を有効または無効にします。システムは、設定後に自動的に再起動します。

注意：

現在のプラットフォームは、新しいプラットフォームに変更する前に無効にする必要があります。

故障かなと思ったら

この章では、あなたのLG IPデバイスに生じ得る困難なことを解決するために役立つ有用な情報を提供しています。

状況	原因と対処方法
USBまたはSDカードを認識できない	ディスクパーティション情報に、認識できなくする問題があり、ディスクをフォーマットする必要があります。
	接続を緩めて、USB / SDカードを再接続して、カメラを再起動してください。
	ポータブルディスクの場合、十分な電力がない時に認識できないことがあり、十分に電力が供給されていることを確認するために電力供給方法をチェックするか、独立した電源ディスクを使用するように変更する必要があります。
ワイヤレスネットワークカードが認識されない	静かにネットワークカードを保護状態に変えて、カメラを再起動する必要があります。
	ネットワークカードの状態が不安定な場合は、新しいネットワークカードに交換する必要があります。
カメラの電源はオンになっているが、IP検索で検索できません。	コンピューター/ホストNIC、NICドライバー、ネットワーク配線、ネットワーク接続の状態をチェックし、全てが正しいことを確認してください。
	カメラをコンピューター/ホストサーバーに直接接続して動作するかどうかを確認し、コンピューター/ホストサーバーをリセットして再試行してください。
	他のカメラまたは他のコンピューター/ホストサーバーを試してみてください。
IE上に画像がありません	最初の接続でIEブラウジングのためのActiveXプラグインをダウンロードしてインストールする必要があります。
ログイン後に不正確な画像が表示される	同じIPおよびMACアドレスを持ついくつかのネットワークの中に他のデバイスが存在します。
	返却パッケージがあるかどうかを確認するために、カメラの接続を切断してネットワークの疎通を確認してみてください。
	IP検索を使用して同じIPアドレスを持つデバイスが存在するかどうかを確認し、次に他のデバイスを切断してカメラのIPアドレスが唯一のものであることを確認してください。
	公衆網に接続し、ログインして他の機器のポートにマッピングされたポートを選択してください。
サーバーの疎通が大丈夫なことは確認したが、正常にログインできない	ポート3001がファイアウォールによってブロックされています。
	間違ったポート番号であるか、またはログイン時のIDまたはパスワードが正しくありません。
	カメラへ過剰にアクセスしています。禁止リストに設定してください。
	IP検索を使用してカメラのリッスンポートをチェックし、ソフトウェアと同じであることを確認してください。
UDPをビデオに接続できない	他のクライアントが既に同じコンピューター上でカメラに接続しています。
	UDPポートが同じコンピューター上の他のアプリケーションプログラムと競合しています。カメラのIPアドレスを変更し、再試行してください。
2つのカメラの映像が交互に表示される、または同時に接続および切断される	カメラのIPアドレスが他のコンピューターのIPアドレスと競合しています。
	MACアドレスに競合する場合は、IP検索を確認してください。
	IPアドレスに競合する場合は、IP検索を確認してください。

IE上でビデオが正しく接続されない	ホストIPアドレスがカメラと同じネットワークセグメントにあることを確認してください。
	異なるネットワークセグメントにある場合は、ルーティングしてください。
	バージョン9.0以上のIEを使用していることを確認してください。
	グラフィックカードとDirectXのドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。最新バージョンのドライバーをインストールすることをお勧めします。
	ActiveXプラグインを有効にしてください。
	ウイルス対策ソフトとファイアウォールをオフにして、テストしてください。
	インストール済みのプラグインを削除し、再度ダウンロードして際インストールし、テストを行ってください。
	他のコンピューター / ホストサーバーを使用して、テストしてください。
	それでもまだ問題がある場合は、サービスセンターに連絡してください。
サブストリームに接続できません	カメラへのアクセスがいっぱいです。
コントロールの失敗	IEではパン、チルト、ズームを制御できますが、ソフトウェアでは制御できません。
	制御プロトコルが正しいことを確認してください。
	PTZカメラのアドレスがソフトウェアに正しく設定されていることを確認してください。
ソフトウェアではビデオが正しく表示されるが、不安定になったり、断続的であったり、フレームが消えたりする	ソフトウェアを終了してコンピューターのCPU使用率を確認し、コンピューターの構成がソフトウェアを実行する余地があり、ウイルスがないことを確認してください。
	コンピューターからカメラへの疎通を確認し、ドロップアウトがあるかどうかをチェックしてください。
	ネットワークの帯域幅をテストし、十分でないか不安定な場合は、インターネットサーバープロバイダーにお問い合わせください。
	狭いネットワーク帯域幅で滑らかな映像が必要な場合は、解像度や画質を下げてください。
	VCA機能が開いているかどうかを確認し、VCA機能を閉じてから、再試行してください。
接続は正しいが、画面が黒いか、またはビデオ画像がアナモルフィックである	DirectXが9.0c以前のバージョンになっています。DirectXのバージョンを確認します。
	グラフィックカードドライバーが間違っており、DirectXの補助機能が無効になっています。全画面のプライバシーマスクを設定してください。
ビデオがIE上で適切に表示されるが、ソフトウェアでは正常に表示されない	ソフトウェアのバージョンが正しいことを確認してください。
	IPアドレスとサーバーの種類がソフトウェアにおいて正しいかどうかを確認してください。LANにおいては「メインストリーム+TCP」タイプ、WLANにおいては「サブストリーム+TCP」を使用することが推奨されます。
	ビデオが全てのソフトウェアのメインインターフェースに接続されていることを確認してください。
	ソフトウェアを再起動して再接続してください。
ビデオが表示され、適切に制御されるが、音声が出ない	コンピューターのオーディオカードのドライバーが正しく接続されていることを確認し、テストするためにいくつかの音楽を再生してみてください。
	カメラの設定で、ビデオだけでなく、ビデオ/オーディオが選択されていることを確認してください。
	オーディオのチャンネルが正しいことを確認してください。
	マイクが正しく接続されていることを確認してください。

オーディオ信号が弱い	有効なマイクを使用しているかどうかを確認してください。
	マイクの感度を高くしてください。
	オーディオ再生のためのアクティブラ独活スピーカーを使用してください。
アラームが出力されない	出力配線が正しくなされていることを確認してください。
	入力電源の電圧がAC 24 V / DC 12 V、電流が2Aであることを確認してください。
	IEの入力 / 出力ポートの設定を確認してください。
	アラーム装置が正常に動作していることを確認してください。
パラメーターの設定後に突然電源が切れる	パラメーターは、自動的にカメラをリセットしない限り、1分後に適切に保存されるように設定されています。
カメラに使用した後、USBが小さくなる	USBとSD cardはカメラに特別な分割操作によりフォーマットされており、コンピューター上の容量の一部の結果を特定することはできません。
	PC上のBOOTICE.EXEソフトウェアを使用して、USBまたはSD cardを再フォーマットしてください。

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

本製品をお買い求めから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール(opensource@lge.com)にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

仕様

項目		LNU7260R
カメラ	画像装置	1 / 2.8" Exmor CMOS
	レンズタイプ	3.3 - 10 mm、電動レンズ
	昼間 / 夜間	デュアルICR
	最低照度	色 : 0.03 lux @ F1.4 (AGC ON)
		B/W : 0 lux @ IR LED on
	IR距離	30 m
画像補正	設定可能な明るさ、彩度、コントラスト、フリップモード、HLC、スマートフォグ除去、コリドー、EIS	
ビデオ / オーディオ	圧縮	H.265, H.264 HP / MP / BP, M-JPEG
	解像度	60 Hz: 1080p @ 30 fps, 960p @ 30 fps, 720p @ 60 fps
		50 Hz: 1080p @ 25 fps, 960p @ 25 fps, 720p @ 50 fps
	最大フレームレート	60 fps @ 1280 × 720
	マルチストリーミング	最大3
	ROI (スマートコーデック)	対応 (最大4ゾーン)
	ビデオ分析	トリップワイヤー、境界線、遺失物および異物、群集、徘徊、高速移動、駐車場、音声オフライン
	テキストオーバーレイ	対応
	音声圧縮	G.711, G.726, ADPCM, AAC
	2-wayオーディオ	対応
音声検知	対応	
イベント	イベントトリガー	動体検知、IP競合、ポートアラーム
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プリアラーム記録	対応
インターフェース	アナログ出力	1 BNC出力
	音声入力 / 出力	1入力 / 1出力
	アラーム入力 / 出力	2入力 / 1出力
	SDスロット	マイクロSD (最大128 GB)
	RS-485	対応
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、IPフィルター
	オープンプロトコル	ONVIF (プロファイルS)
	プロトコル	IPv4/IPv6, HTTP, FTP, SMTP, UPnP, SNMP, DNS, DDNS, NTP, RTSP, TCP, UDP, DHCP, PPPoE
	内部ソフトウェア	モバイルアプリケーション (iPhone、iPad、Android)
	接続	最大4レベル, 8ユーザー
一般	電源	DC 12 V, AC 24 V, PoE
	最大消費電力	12.5 W
	最大入力電流	890 mA (AC 24 V), 980 mA (DC 12 V), 260 mA (PoE)
	動作温度 / 湿度	-30 °C~60 °C / 0 % RH~95 % RH
	保護	IK10, IP66
	外形寸法 (W x H x D)	97.1 mm x 89.4 mm x 311.8 mm
	重量	1.3 kg

項目		LNU5460R
カメラ	画像装置	1 / 3" CMOS
	レンズタイプ	3.3 - 10 mm、電動レンズ
	昼間 / 夜間	デュアルICR
	最低照度	色 : 0.5 lux @ F1.4 (AGC ON)
		B/W : 0 lux @ IR LED on
	IR距離	30 m
画像補正	設定可能な明るさ、彩度、コントラスト、フリップモード、HLC、スマートフォグ除去、コリドー、EIS	
ビデオ / オーディオ	圧縮	H.265, H.264 HP / MP / BP, M-JPEG
	解像度	60 Hz: 1440p @ 25fps, QXGA @ 25fps, 1080p @ 30fps, 960p @ 30fps, 720p @ 30fps
		50 Hz: 1440p @ 25fps, QXGA @ 25fps, 1080p @ 25fps, 960p @ 25fps, 720p @ 25fps
	最大フレームレート	30fps @ 1920 × 1080, 60fps @ 1280 × 720
	マルチストリーミング	最大3
	ROI (スマートコーデック)	対応 (最大4ゾーン)
	ビデオ分析	トリップワイヤー、境界線、遺失物および異物、群集、徘徊、高速移動、駐車場、音声オフライン
	テキストオーバーレイ	対応
	音声圧縮	G.711A, G.711U, ADPCM, AAC
	2-wayオーディオ	対応
音声検知	対応	
イベント	イベントトリガー	動体検知、IP競合、ポートアラーム
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プリアラーム記録	対応
インターフェース	アナログ出力	1 BNC出力
	音声入力 / 出力	1入力 / 1出力
	アラーム入力 / 出力	2入力 / 1出力
	SDスロット	マイクロSD (最大128 GB)
	RS-485	対応
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、IPフィルター
	オープンプロトコル	ONVIF (プロファイルS)
	プロトコル	IPv4/IPv6, HTTP, FTP, SMTP, UPnP, SNMP, DNS, DDNS, NTP, RTSP, TCP, UDP, DHCP, PPPoE
	内部ソフトウェア	モバイルアプリケーション (iPhone、iPad、Android)
	接続	最大4レベル, 8ユーザー
一般	電源	DC 12 V, AC 24 V, PoE
	最大消費電力	12.5 W
	最大入力電流	890 mA (AC 24 V), 980 mA (DC 12 V), 260 mA (PoE)
	動作温度 / 湿度	-30 °C~60 °C / 0 % RH~95 % RH
	保護	IK10, IP66
	外形寸法 (W x H x D)	97.1 mm x 89.4 mm x 311.8 mm
	重量	1.3 kg

項目		LNV7260R
カメラ	画像装置	1 / 2.8" Exmor CMOS
	レンズタイプ	3.3 - 10 mm、電動レンズ
	昼間 / 夜間	デュアルICR
	最低照度	色 : 0.03 lux @ F1.4 (AGC ON)
		B/W : 0 lux @ IR LED on
	IR距離	30 m
画像補正	設定可能な明るさ、彩度、コントラスト、フリップモード、HLC、スマートフォグ除去、コリドー、EIS	
ビデオ / オーディオ	圧縮	H.265, H.264 HP / MP / BP, M-JPEG
	解像度	60 Hz: 1080p @ 30 fps, 960p @ 30 fps, 720p @ 60 fps
		50 Hz: 1080p @ 25 fps, 960p @ 25 fps, 720p @ 50 fps
	最大フレームレート	30 fps @ 1920 × 1080, 60 fps @ 1280 × 720
	マルチストリーミング	最大3
	ROI (スマートコーデック)	対応 (最大4ゾーン)
	ビデオ分析	トリップワイヤー、境界線、遺失物および異物、群集、徘徊、高速移動、駐車場、音声オフライン
	テキストオーバーレイ	対応
	音声圧縮	G.711A, G.711U, ADPCM, AAC
	2-wayオーディオ	対応
音声検知	対応	
イベント	イベントトリガー	動体検知、IP競合、ポートアラーム
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プリアラーム記録	対応
インターフェース	アナログ出力	1 BNC出力
	音声入力 / 出力	1入力 / 1出力
	アラーム入力 / 出力	2入力 / 1出力
	SDスロット	マイクロSD (最大128 GB)
	RS-485	対応
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、IPフィルター
	オープンプロトコル	ONVIF (プロファイルS)
	プロトコル	IPv4 / IPv6, HTTP, FTP, SMTP, UPnP, SNMP, DNS, DDNS, NTP, RTSP, TCP, UDP, DHCP, PPPoE
	内部ソフトウェア	モバイルアプリケーション (iPhone、iPad、Android)
	接続	4レベル / 8ユーザー
一般	電源	DC 12 V, AC 24 V, PoE
	最大消費電力	11 W
	最大入力電流	810 mA (AC 24 V), 880 mA (DC 12 V), 230 mA (PoE)
	動作温度 / 湿度	-30 °C ~ 60 °C / 0 % RH ~ 95 % RH
	保護	IK10, IP66
	外形寸法 (Ø x H)	150 mm × 122 mm
	重量	0.96 kg

項目		LNV5460R
カメラ	画像装置	1 / 3" CMOS
	レンズタイプ	3.3 - 10 mm、電動レンズ
	昼間 / 夜間	デュアルICR
	最低照度	色 : 0.5 lux @ F1.4 (AGC ON)
		B/W : 0 lux @ IR LED on
	IR距離	30 m
画像補正	設定可能な明るさ、彩度、コントラスト、フリップモード、HLC、スマートフォグ除去、コリドー、EIS	
ビデオ / オーディオ	圧縮	H.265, H.264 HP / MP / BP, M-JPEG
	解像度	60 Hz: 1440p @ 25fps, QXGA @ 25fps, 1080p @ 30fps, 960p @ 30fps, 720p @ 30fps
		50 Hz: 1440p @ 25fps, QXGA @ 25fps, 1080p @ 25fps, 960p @ 25fps, 720p @ 25fps
	最大フレームレート	30 fps @ 2048 × 1536, 60 fps @ 1280 × 720
	マルチストリーミング	最大3
	ROI (スマートコーデック)	対応 (最大4ゾーン)
	ビデオ分析	トリップワイヤー、境界線、遺失物および異物、群集、徘徊、高速移動、駐車場、音声オフライン
	テキストオーバーレイ	対応
	音声圧縮	G.711A, G.711U, ADPCM, AAC
	2-wayオーディオ	対応
音声検知	対応	
イベント	イベントトリガー	動体検知、IP競合、ポートアラーム
	イベント通知	リレー出力、電子メール、FTP
	プリアラーム記録	対応
インターフェース	アナログ出力	1 BNC出力
	音声入力 / 出力	1入力 / 1出力
	アラーム入力 / 出力	2入力 / 1出力
	SDスロット	マイクロSD (最大128 GB)
	RS-485	対応
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 10 / 100 BASE-T
	セキュリティ	パスワード保護、IPフィルター
	オープンプロトコル	ONVIF (プロファイルS)
	プロトコル	IPv4 / IPv6, HTTP, FTP, SMTP, UPnP, SNMP, DNS, DDNS, NTP, RTSP, TCP, UDP, DHCP, PPPoE
	内部ソフトウェア	モバイルアプリケーション (iPhone、iPad、Android)
	接続	4レベル / 8ユーザー
一般	電源	DC 12 V, AC 24 V, PoE
	最大消費電力	11 W
	最大入力電流	810 mA (AC 24 V), 880 mA (DC 12 V), 230 mA (PoE)
	動作温度 / 湿度	-30 °C ~ 60 °C / 0 % RH ~ 95 % RH
	保護	IK10, IP66
	外形寸法 (Ø x H)	150 mm × 122 mm
	重量	0.96 kg

